

三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン

愛称：夢実月

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2021年9月9日～2022年3月8日

第 222 期 決算日：2021年10月8日 第 225 期 決算日：2022年1月11日

第 223 期 決算日：2021年11月8日 第 226 期 決算日：2022年2月8日

第 224 期 決算日：2021年12月8日 第 227 期 決算日：2022年3月8日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、豪ドル建ての公社債を実質的な主要投資対象とし、信用度の高い公社債に分散投資することにより、利子収益の確保と値上がり益の獲得をめざし、運用を行ってまいります。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第227期末 (2022年3月8日)

基準価額 4,082円

純資産総額 52,900百万円

第222期～第227期

騰落率 +0.2%

分配金合計(*) 120円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  0120-151034

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

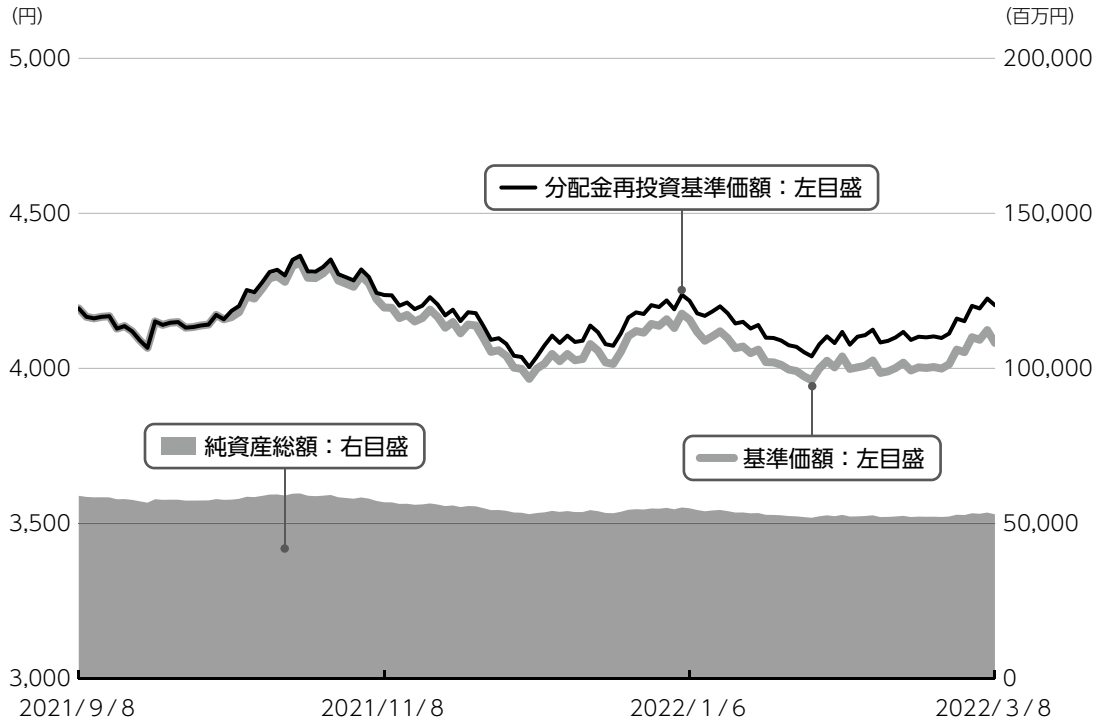
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第222期～第227期：2021年9月9日～2022年3月8日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第222期首	4,193円
第227期末	4,082円
既払分配金	120円
騰落率	0.2%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ0.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

豪ドルが対円で上昇したことや債券利子収益を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

豪州金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

2021年9月9日～2022年3月8日

1万口当たりの費用明細

項目	第222期～第227期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	24	0.573	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(11)	(0.273)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(11)	(0.273)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	0	0.007	(c) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.005)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	24	0.580	

作成期中の平均基準価額は、4,111円です。

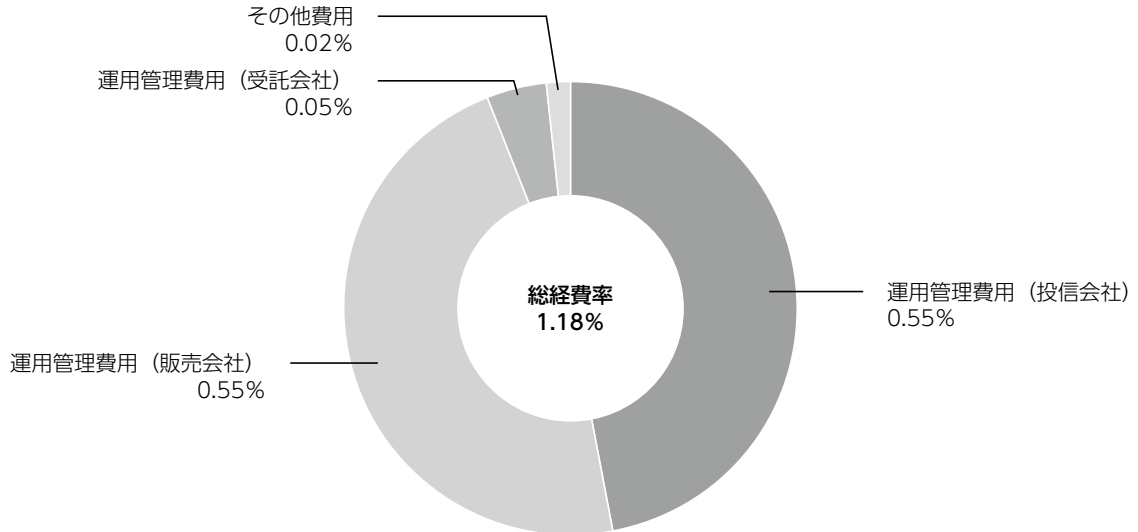
- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.18%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

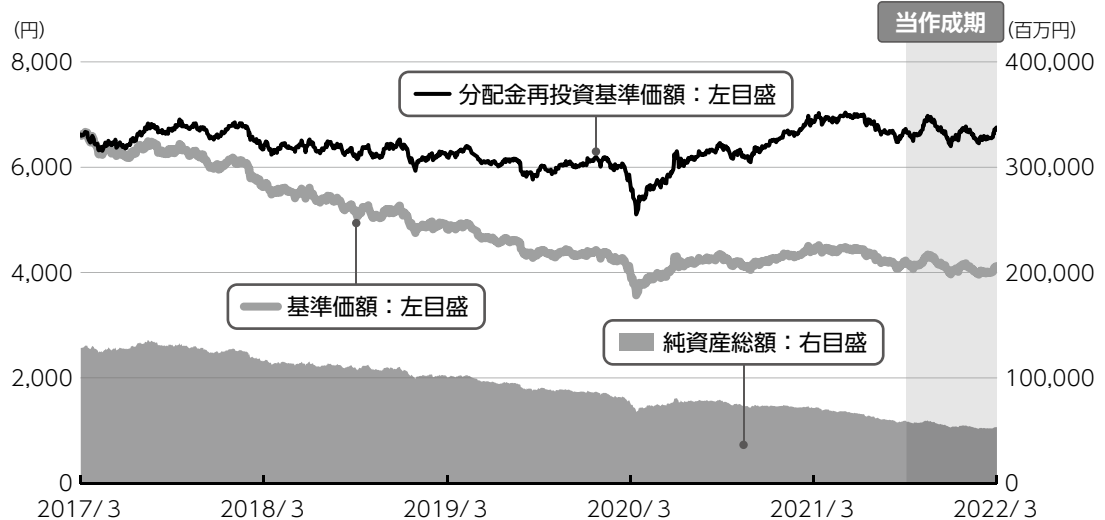
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年3月8日～2022年3月8日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2017年3月8日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2017/3/8 期初	2018/3/8 決算日	2019/3/8 決算日	2020/3/9 決算日	2021/3/8 決算日	2022/3/8 決算日
基準価額 (円)	6,622	5,642	4,826	3,884	4,419	4,082
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	800	630	480	350	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-3.0	-3.5	-10.3	23.7	-2.2
純資産総額 (百万円)	128,395	115,998	100,342	74,108	71,471	52,900

※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第222期～第227期：2021年9月9日～2022年3月8日

投資環境について

▶ 債券市況

豪州金利は上昇しました。

発表された基調的な消費者物価指数の伸びが市場予想を上回る結果となったことなどから、豪州準備銀行（RBA）による早期利上げ観測が高まった結果、豪州金利は上昇基調で推移しました。

▶ 為替市況

豪ドルは対円で上昇しました。

豪州金利が上昇し本邦との金利差が拡大したことや豪州の主要輸出品である鉄鉱石価格が上昇したことなどから、豪ドルは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン

主要投資対象である豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券への投資を通じて、豪ドル建ての信用度の高い公社債を高位に組み入れた運用を行いました。

▶ 豪ドル債券インカムマザーファンド

当作成期を通じて、豪ドル建ての債券現物の組入比率は高位を維持しました。なお、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）調整のため、債券先物も活用しました。

デュレーション

ファンド全体のデュレーションは、豪州や米国などの金融政策、インフレ動向などを注視しながら、機動的に操作しました。結果、当作成期末のデュレーションは2.8年程度となっています。

残存期間構成

イールドカーブの傾きに注目するとともに、デュレーションを短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとし、長期化する局面では中長期ゾーンの組入比率を高めとしました。

債券種別構成

豪州国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を睨みながら、債券種別構成を調整しました。当作成期は、国債の組入比率を引き下げ、州政府債の組入比率を引き上げました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第222期 2021年9月9日~ 2021年10月8日	第223期 2021年10月9日~ 2021年11月8日	第224期 2021年11月9日~ 2021年12月8日	第225期 2021年12月9日~ 2022年1月11日	第226期 2022年1月12日~ 2022年2月8日	第227期 2022年2月9日~ 2022年3月8日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 (0.478%)	20 (0.474%)	20 (0.496%)	20 (0.487%)	20 (0.497%)	20 (0.488%)
当期の収益	6	10	6	11	5	9
当期の収益以外	13	10	13	9	14	10
翌期繰越分配対象額	562	552	539	530	516	506

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン

豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、マザーファンドのポートフォリオの構成に近づけた状態を維持する方針です。

▶ 豪ドル債券インカムマザーファンド 組入比率

安定した利子収益の確保をめざし、引き続き債券現物の高位組み入れを維持する方針です。

デュレーション

豪州の金融政策の方向性、グローバルな景気・インフレ動向を睨みながら、機動的に操作する方針です。

残存期間構成

デュレーションを長期化する局面では中長期ゾーンを、短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとする方針です。

債券種別構成

国債に対する相対的なスプレッド動向や市場のボラティリティ変動要因などに注視し、必要に応じて組入比率を調整する方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

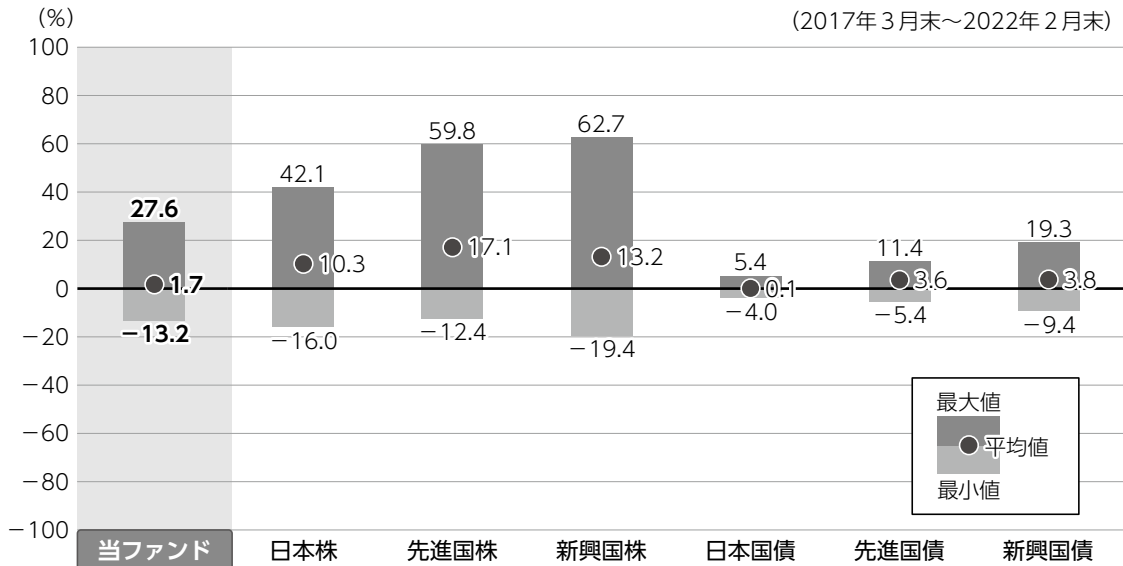
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufig.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（2003年3月14日設定）
運用方針	豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として高格付の豪ドル建ての公社債に実質的な投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	<p>■当ファンド 豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■豪ドル債券インカムマザーファンド 豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。</p>
運用方法	豪ドル建ての公社債を実質的な主要投資対象とし、信用度の高い公社債に分散投資することにより、利子収益の確保と値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年3月から2022年2月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2022年3月8日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第227期末 2022年3月8日
豪ドル債券インカムマザーファンド	99.8%

※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

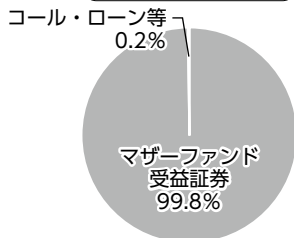
純資産等

項目	第222期末 2021年10月8日	第223期末 2021年11月8日	第224期末 2021年12月8日	第225期末 2022年1月11日	第226期末 2022年2月8日	第227期末 2022年3月8日
純資産総額 (円)	57,630,894,756	56,777,990,195	53,531,657,289	53,884,506,092	52,229,898,611	52,900,411,504
受益権口数 (口)	138,357,300,400	135,299,678,315	133,315,126,506	131,778,250,000	130,484,043,248	129,586,842,245
1万口当たり基準価額 (円)	4,165	4,196	4,015	4,089	4,003	4,082

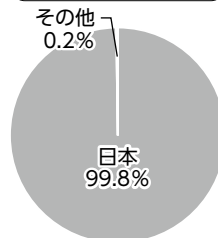
※当作成期間中（第222期～第227期）において追加設定元本は2,112,328,552円
同解約元本は12,922,172,854円です。

種別構成等

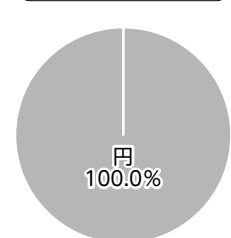
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

290883

2022年3月8日現在

組入上位ファンドの概要

▶ 豪ドル債券インカムマザーファンド

基準価額の推移

2021年3月8日～2022年3月8日



1万口当たりの費用明細

2021年3月9日～2022年3月8日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0	0.001
(b) その他費用 (保管費用)	1	0.009
(その他)	(0)	(0.000)
合計	1	0.010

期中の平均基準価額は、11,409円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

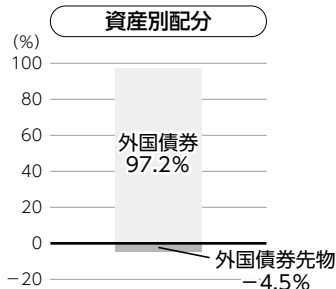
(組入銘柄数：36銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	4.25 AUST GOVT 260421	債券	オーストラリア	国債	16.1
2	3.25 QUEENSLAND 260721	債券	オーストラリア	特殊債	6.5
3	3 WEST AUST TREAS 261021	債券	オーストラリア	特殊債	6.4
4	4.75 QUEENSLAND 250721	債券	オーストラリア	特殊債	5.9
5	5.75 QUEENSLAND 240722	債券	オーストラリア	特殊債	5.1
6	2.5 WEST AUST TRE 240723	債券	オーストラリア	特殊債	4.7
7	4.25 LANDWIRTSCH 250109	債券	ドイツ	特殊債	3.3
8	3.75 ASIAN DEVELO 250312	債券	国際機関	特殊債	3.3
9	1.5 VICTORIA 310910	債券	オーストラリア	特殊債	2.8
10	4 INTL FINANCE CO 250403	債券	国際機関	特殊債	2.5

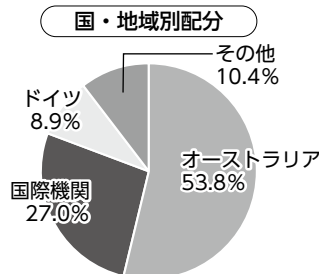
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

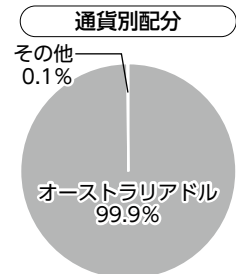
種別構成等

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。



※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先としてのファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。



指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信